

年間第 17 主日 (ルカ 11:1-13)

主の祈りでイエスは「祈り」と「祈り方」を教えた



最近のパソコンは高性能で、言ったことを言わなかったことにできる怖さがあります。先週の 6 時のミサでは、教皇様の名前を間違っ「フランシスコ」と言ってしまう、すぐに「教皇レオ 14 世」と言い直しました。このミサは収録をして YouTube にアップするので、そのままアップするわけにはいきません。

そのため、「フランシスコ」と言った「ほんのコンマ何秒」を切り取り、繋げました。興味のある方は先週のミサ動画をご覧になっていただければ分かりますが、ハサミを入れたことすら分からないほど良く仕上がっています。ある意味、怖いですね。

今週の朗読箇所には、一般的な新共同訳聖書を開くと「祈るときには」という小見出しが付いています。そして弟子の一人が、「わたしたちにも祈りを教えてください」と言い、イエスも「祈るときには、こう言いなさい」と答えているので、何も問題ないように思えますが、中田神父はここに違和感を覚えました。

おそらくイエスの弟子は、「祈りを教えてください」と言ったのは、たとえば私たちに「今年の聖年の祈りを教えてください」というような気持ちでお願いしたのだと思います。聖年の祈りはちょっと長いので、長崎教区は祈りのカードを用意してお配りしました。皆さんは何度も繰り返し唱えてきたので、もしかしたら見ないで言えるようになっているかもしれません。

しかしイエスが示したのは、「こう祈りなさい」ということでした。つまり「祈り」であると同時に「祈り方」を教えてくださいました。先ほどの「聖年の祈り」については、出来上がった「祈り」を教区は示しました。「聖年にふさわしい祈り方」を教えたわけではなく、その点、イエス様とは違います。

この流れに沿って、イエスが話されたたとえ話の結論を考えてみましょう。「そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。」(11・9-10)

ここでイエスは、「与えてもらえる祈り」みたいなものを教えたわけではありません。「確実に見つかる祈り」「必ず開かれる祈り」を教えたわけでもありません。ただ、どのようにしたら与えられるか、見つかるのか、開かれるのかを教えられたのです。真夜中に「パンを三つ貸してください」と言った人は、「しつように頼んで」(11・8 参照) 必要な物は何でも与えてもらいました。パン三つだけでなく、ほかの食材もきっと与えてもらったことでしょう。

ここまで考えてきたので、振り返ってみましょう。私たちは神に、「求めなさい」と言われて何を求めてきたのでしょうか。「探しなさい」

「門をたたきなさい」と言われて、どのように取り組んできたのでしょうか。「与えられるためのマル秘テクニック」というものをイエスに求めてきたのではないのでしょうか。

私たちはカトリック教会として危機の時代を迎えているかもしれません。司祭を目指す神学生の減少、奉献生活者を目指す志願者の減少。それでもどうにかして、この危機の時代を突破しなければなりません。ありがたいことに「司祭のための祈り」を唱えてもらっていて、途中「喜びのうちにみことばを伝え、あたたかい愛をもって人々に仕える者にしてください」と唱えてくださっています。

ただ考えました。「これさえ唱えれば、司祭が『喜びのうちにみことばを伝え、あたたかい愛をもって人々に仕える者』になるに違いない」と、思っておられるだろうか？「唱えた祈りに、合わせて何をすれば、その通りになるか。」ときにはこのことを考えてみてください。司祭も、いろんな祈りの時、「唱えたことがその通りになるために、わたしに何が求められているだろうか」と考えています。

◆祈るときには

11:1 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。

11:2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、／御名が崇められますように。御国が来ますように。』

11:3 わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

11:4 わたしたちの罪を赦してください、／わたしたちも自分に負い目のある人を／皆赦しますから。わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』」

11:5 また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。』

11:6 旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』

11:7 すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』

11:8 しかし、言っておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。

11:9 そこで、わたしは言っておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

11:10 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

11:11 あなたがたの中に、魚を欲しがる子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。

11:12 また、卵を欲しがるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。

11:13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」